



学校だより

6月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



一つ一つの経験が自分の力に

校長 西山 久美子

2年生が生活科の学習で育てている野菜の苗が日に日に成長し、かわいい実をつけ始めました。子ども達は朝一番、ランドセルを背負ったまま自分の鉢に向かっていきます。そして「見て！こんな実ができたよ。」「大きくなってきたよ。」「あれ？虫に食われた。」など自分の野菜の成長をうれしそうに伝えてくれます。大人になると見過ごしてしまいそうな小さな芽やつぼみも、子ども達は本当によく見えています。目の前の「野菜」から気づきや学びを得ているのだと感じるとともに、自分で育てる経験の貴重さを改めて感じています。

さて、上星川小学校では、5年生と6年生が委員会活動として様々な仕事を担っており、それぞれの委員会の児童は学校のために一生懸命に活動しています。ある委員会の役割を決めたとき、自ら立候補した子が「(いろいろなことを) 経験して大人になっていきたい。」と書いていました。これまでやらなかったことに挑戦したり、初めての役を引き受けたりして、様々な経験を積み重ねながら成長していく姿をまぶしく感じています。

子どもたちは、日々の学校生活の中で「実際に経験する」ことで学びを深めます。学習の場面をとってみても、地図で見ていた自分のまちを実際に探検してみる、理科で予想した通りの結果になるか実験してみる、新しい運動のやり方を知り練習してみるなど、一つ一つの経験が自分の知識や技となり次の学びのスタートになっていきます。他にも、遊びのルールを決めること、みんなで協力すること、一つのことをやり遂げることなどの経験は、この先に訪れる新しい課題に向かう力となります。さらに、心から楽しいと思える経験やきれいなものを見て感動する経験を通して豊かな心が育まれます。時には、困難を乗り越えなければならないことや苦しいなあと感じることも、「どうしたらよいだろう？」と悩む場面もあるかもしれません。しかしそのような経験も子どもが大きく成長するチャンスであるとも言えます。どんな時でも私たち大人は、子どもがたくさん経験を通して自分の力で次のステップに進めるよう温かく見守っていきたいと思っています。

神奈川県のみん延防止等重点措置が延長となりました。今後の状況により行事等の変更も生じることがありますが、学校では引き続きガイドラインに則り感染防止対策を徹底しながら、子どもたちの豊かな学びを保障してまいります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。